

価値創造ドライバー

ダイダンは価値を創造する3つの原動力である、「課題を解決し価値を提供するエンジニアリング力」「未来に向け新たな価値を創造するイノベーション力」「総合力が表れる現場力」をご紹介します。

- 37 エンジニアリング力
 - 37 DX推進による生産性の向上
 - 39 プレハブ・ユニット加工オフサイト施設の活用
 - 41 高度な開発技術
- 43 イノベーション力
 - 45 研究開発の推進
 - 48 知的財産マネジメント
- 49 現場力
 - 50 施工事例
 - 53 設計提案力・施工技術力の向上
- 54 海外事業
- 57 グループ会社の取り組み

技術本部長メッセージ

少子化にともなう人口減少の影響を受け、建設業界も人手不足が深刻な問題となっており、企業経営の大きな課題となっています。また都市部の大規模再開発や半導体、電池関連工場の建設など技術力が求められる工事が増加しています。当社は人材戦略を主眼におき、教育研修の抜本的な見直し、組織の壁を越えた人材のローテーション強化に取り組み、お客さまから信頼していただけるよう努めてまいります。

さらに当社はBIMやICTを積極的に導入することにより施工プロセスの高度化、生産性の向上により最適な技術を提供することで、施工品質を高め、安全な就労環境をつくり、働きやすさを向上するエンゲージメントを高めてまいります。



上席執行役員 技術本部長
大井 太

エンジニアリング事業部長メッセージ

2024年度を初年度とする3か年の中期経営計画Phase2(磨くステージ)における経営方針が定められ、今年度のエンジニアリング事業部方針を「Hybrid*な事業戦略により組織の価値を高め、全社KPI達成のため総合力強化と持続的成長を目指す」としました。

当事業部が担う最大のミッションは、常に高い専門性を必要とする産業施設市場を主戦場として、これに対応できる技術者の裾野を広げることです。半導体関連、車載用電池、ワクチンなどさまざまな環境が求められる施設へ、いつの時代にも安全・快適・信頼の空間価値が届けられるように事業部全員で取り組んでまいります。

*Hybrid:事業部および本部の役割と機能を併せ持つ



上席執行役員 エンジニアリング事業部長兼技術統括
麻生 博